

KSKQ

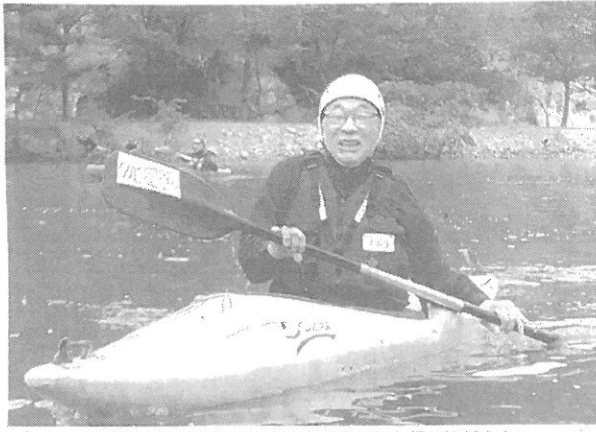
一般社団法人 日本障害者カヌー協会 機関紙 パラマウント通信

2019/3/31
カヌーシーズン到来!!号
NO.77

自然との共生

障害者カヌーを楽しむ

江村 裕之



静水で気持ちよくカヤックをスイスイと操る江村さん
(兵庫県豊岡市・県立円山川公苑)一写真は本人提供

「爽快感、抜群。カヌー最高」
私が初めてカヌーを体験した時の気持ちです。艇に乗っていると、普段見ている川の様子と全く違い、水上から眺める景色は格別に美しく、ほとんど人工物が入らず周りの木々や草だけで自然と一体になり、頬を横切る風は涼しく、爽やかさは格別なものでした。自然は障害者に無にかかわらず、誰にも同じように接してくれることを改めて感じ、カヌーにはまっています。障害者カヌーの活動は知っています。

① 未知の分野への挑戦

爽快感抜群「沈」も醍醐味

えむら ひろゆき 1962年生まれ、京都市出身。京都府立嵯峨野高等学校。3歳の時に小児まひにかかり身体障害者(下肢機能障害)になる。京都市中野区障害者地域生活支援センターのボランティア。パラマウント・チャレンジ・カヌー実行委員長。66歳。

「爽快感、抜群。カヌー最高」
私が初めてカヌーを体験した時の気持ちです。艇に乗っていると、普段見ている川の様子と全く違い、水上から眺める景色は格別に美しく、ほとんど人工物が入らず周りの木々や草だけで自然と一体になり、頬を横切る風は涼しく、爽やかさは格別なものでした。自然は障害者に無にかかわらず、誰にも同じように接してくれることを改めて感じ、カヌーにはまっています。障害者カヌーの活動は知っています。

「爽快感、抜群。カヌー最高」
私が初めてカヌーを体験した時の気持ちです。艇に乗っていると、普段見ている川の様子と全く違い、水上から眺める景色は格別に美しく、ほとんど人工物が入らず周りの木々や草だけで自然と一体になり、頬を横切る風は涼しく、爽やかさは格別なものでした。自然は障害者に無にかかわらず、誰にも同じように接してくれることを改めて感じ、カヌーにはまっています。障害者カヌーの活動は知っています。

福祉のページ

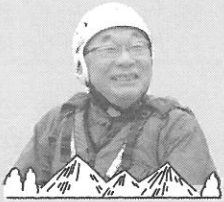
2019年2月18日 京都新聞掲載

原稿毎月第3月曜日に掲載します。掲載記事は京都新聞社会福祉事業団のホームページからもご覧いただけます。

「カヌー」はカヤックを含めた「パドルを使ってこぐ小舟のこと。種類は「カナディアンカヌー」と「カヤック」に分かれます。両者の主な違いは、パドルの先の水をかく部分が片方だけのものが「カナディアンカヌー」、両方にあるものが「カヤック」になります。私が買ったものはカヤックです。

「カヌー」はカヤックを含めた「パドルを使ってこぐ小舟のこと。種類は「カナディアンカヌー」と「カヤック」に分かれます。両者の主な違いは、パドルの先の水をかく部分が片方だけのものが「カナディアンカヌー」、両方にあるものが「カヤック」になります。私が買ったものはカヤックです。

パラマウントチャレンジカヌー京都実行委員長の江村裕之さんが、京都新聞の福祉面「自然との共生」で2月より連載をされています。連載は6回、毎月原則第3月曜日に掲載されます。



パラマウント
チャレンジカヌー京都
実行委員長
えむら ひろゆき
江村 裕之



京都新聞
社会福祉事業団
WEBページ

そんな江村さんが実行委員長を勤めるパラマウントチャレンジカヌーin京都、2年続けて天候に泣かされ中止になっており、「今年こそ晴天の京パラ!!」を合言葉に7月14日(日)京都府京丹波市和知町のカヌークラブハウスで開催されます。ぜひ皆様の参加お待ちしております。

鹿児島県伊佐市で国内産ヴァー艇を 試乗しに行って来ました。



鹿児島県伊佐市で国内産ヴァー（アウトリガーカヌー）を作っています。ヴァー（アウトリガーカヌー）とは、2020年東京パラリンピックで正式種目になるヴァー種目の艇で、アウトリガーと呼ばれる浮き張り出ししており、浮きの反対側のみを漕いで前進する競技艇の事です。

今回、高木裕太選手と、加藤隆典選手が国内産ヴァー艇試乗に伊佐市に来られるとの事で、菱刈カヌー競技場でカヌーイベントが開催されました。

国内産ヴァーも、選手の声聞きながら東京パラリンピックに向けて動き出しています。参加されました高木裕太選手と、加藤隆典選手の声をお届けします。

初国内産ヴァー（アウトリガーカヌー）の試乗と技術指導を仰ぎにきました。国内産ヴァーは伊佐市のカヌーショップと奄美大島にある造船所の共同開発で本場、海外の製品にも引けを取らない完成度に驚きました。シートは位置出しなどまだ仮合わせの段階ですが、直進性を重視した船体乗りこなすことができれば良い結果に繋がると期待しています。

そして地元の方々を中心にパドル技術やアマ（アウトリガー）のセッティングなどとても熱心にご指導いただきました。全国的にもヴァーの競技経験者がいる地域は少なく、私の練習拠点も例外ではないため、普段聞けない意見やアドバイスももらえる貴重な機会となりました。

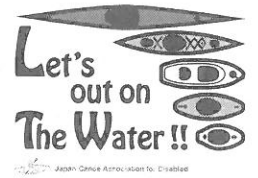
また環境面においても伊佐市カヌー競技場の施設はまだ新しく段差解消は勿論、車椅子でも利用できるトイレやシャワー室などバリアフリーの配慮がなされていてストレスなく利用できました。そしてなにより地元の皆さんから暖かい歓迎を受け大変感謝しています。

すごく充実した時間を過ごせました。鹿児島県伊佐市菱刈カヌー競技場にお世話になり、カヌーのイベントという事で手厚い歓迎を受け、たくさんの人にお集まり頂き興味を持って頂きました。少し話をし、実際にみんなで水の上に出てみる事に。パラカヌーというのは何が違うのか、どうやって漕いでいるのか、障害によって何が変わってくるのかたくさん質問をしました。

頂きました。それについて答える事によって自分の中でも考えることが増えますし、すごくプラスになりました。地元の高校生にも実際に僕が使っているシートを使って漕いでもらい、回旋ができない状態だったり、足を使えない状態にする事で自分と同じような感覚で漕いでもらうことが出来ました。同じカヌーでもバランスの取り方など違いがあるということも感じてもらえた

のかなと思います。今後もっとこういう機会が増えればパラカヌーを知ってもらい、健常者と障害者の垣根も無くなっていくのかなと感じました。関係者の方々、ありがとうございました。





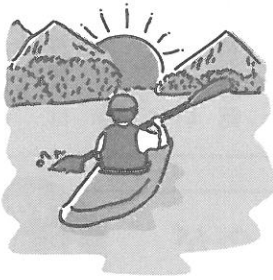
事務局ニュース
Vol.05

この機関紙がお手元に届く頃には、3月27日(水)から31日(日)に香川県府中湖カヌー競技場で行われている2019年パラカヌー世界選手権派遣選考会の結果が出ていると思います。今年は2020年東京パラリンピックの前年になり、世界各国がパラリンピック出場権の獲得のために大切な1年です。3月の選考会で選ばれた選手は5月ポージングで開催されるワールドカップ、8月ハンガリーで開催される世界選手権に参加します。この中でも世界選手権がパラリンピックの出場権獲得のために大切な大会となります。なので、この1年は世界のパラカヌー界にとっては、最も注目された1年になってきます。ぜひ会員の皆様には、協会ホームページ、協会 Facebook ページで選手やスタッフたちの活躍や競技部の活動を楽し

みにして頂ければと思います。

春らしい日差しが増えてきた中、競技部活動以外にも、普及カヌーイベントの開催を予定しております。イベントカレンダーをご覧ください、お近くの会員様は予定してください。昨年は天候不良により、たくさんイベントが中止になりました。今年中止になる事なく開催される事を望んでおります。

日本障害者カヌー協会も一般社団法人としてスタートして3年目を迎えます。全国各地での障害者カヌー普及や、パラカヌー広報の機関紙などは会員様の会費で発行しています。ぜひとも今年度も協会会員としての継続をお願い致します。そして1人でも多くの会員を増やしていければと思っております。



2019
1/20

臨時総会が開催されました

1月20日(日)パラリンピックサポートセンター会議室で日本障害者カヌー協会臨時総会が開催されました。

臨時総会では、2019年度予算計画の大まかな流れを説明。大きくは選手の強化育成、普及としての従来の活動などのように事務局で集約して全国規模に展開していくか。その他、2019年事業計画のために必要な普及部、競技部の予算案と計画について説明がありました。

普及活動については、奈良、兵庫、京都の大会は従来通りのボランティアで、予算は参加者の参加費で賄う形で継続して計画されています。9月の山形パラは、主催・支援と山形パラカーニバルへ選手の派遣、艇の運搬などを依頼される予定。新たな企画として、6月に広島の協会会員と広島大学所属の競技部スタッフ中心となり広島パラを行う事や、九州にも人材育成としてサポーター講習会を開催するなど、各地で、障害者カヌーサポーターの人材発掘育成と体験者の発掘、選手

の発掘を連携して行う事が話されました。

その他協会ホームページや機関紙については、会員を得る為の手段であれば、フルデジタルフルオープンである方がより多くの方に見てもらえるかもしれない。デジタル化も検討しなくてはならないのではないかという提案がありました。

続いて2020年以降の取組みとして、

①「4月からの新規会員募集と継続のためのプロジェクト」は、継続会員と新規会員獲得のために、全員が同じ気持ちで広報して魅力を伝えることが最も大切であること。

②「競技部各専門部署の部員募集」は、競技部各部署を明確にし、まずは医科学委員会トレーナー部門から部員募集を掲げて集約していくこと。

③「普及部の実働部隊の拡張依頼」は、各イベントの情報発信を活性化することによって、地域での新しいサポーターを現場で獲得して継続してもらえるようにすること。

④「組織継続のための資金調達」に

については、2020年以降のパラリンピックサポートセンターの支援が終了した後のことを想定し、事務局の維持費、2020年以降により厳しくなるガバナンスコードに対応できる強い組織を継続するための資金調達について話し合い、全議題について全員一致で承認され臨時総会は閉会しました。

どんどん加速して動き続ける世間の流れを敏感に感じ取りながら、協会結成当時の理念を軸に「変化」ではなく「進化」していく様に頑張って行きますので、ぜひ一緒に進化していきましょう。



2018
11/24

平成30年度東京パラスポーツスタッフにパラカヌーから女性3名が認定され、東京都庁で認定式が開かれました。



パラスポーツにおいて、選手が活躍する背景にはスタッフがたくさんいます。そんな裏方スタッフのサポート環境を作っていくために東京に新たな認定制度が設けられました。この認定制度は東京都のホームページでスタッフや活動紹介などがアップされます。カヌー以外の競技もどんなスタッフ達がスポーツを支えているのか、皆さんもぜひ見てください。

2018
12/16

パラマウントチャレンジカヌーサポーター講習会が開催されました。



宮城県加美町からの委託事業「パラマウントチャレンジカヌーサポーター講習会」が行われました。今回で3

回目となります。1回目はカヌー経験者を対象に講義と実技のワークシヨップ。2回目はカヌー未経験者を対象に講義と実技のワークシヨップ。そして今回は、最終回となり総仕上げのフル体験会というカリキュラムを提供しました。30名以上の参加があり、カヌー体験だけでなく、カヌーを使つての綱引きや、カヌーリレー、水上カヌー乗り換えリレーといった競技が行われ、参加者には大変好評でした。この度この様な機会を依頼して頂いた宮城県加美町の皆様ありがとうございました。

このようなサポーター講習会のカリキュラムを全国各地で開催し、地域の資源を生かした障害者カヌーの普及をこれからも続けていきたいと思ひます。依頼いただいた加美町は、2020年東京パラに向けてチリのパラ選手の合宿誘致先でもあり、人・環境ともにユニバーサルな素敵な町です。ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか？

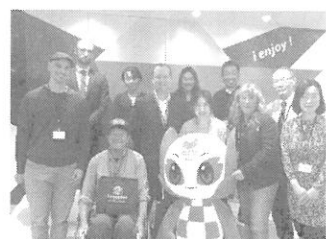
2019
2/20

フランスカヌー連盟の方々が訪ねてこられました。

日本パラリンピック委員会から、「ジャンのパラカヌーを訪ねたいと連絡来てくれるよ」と電話がありました。フランスカヌー連盟の方々と意見交換の場が持たれました。

東京2020に向けて、パラ選手の競技環境や宿泊、カヌー運搬についての日本の現状について質問があり、宿泊施設のバリエーションの少なさ、欧米諸国のように日本はまだユニバーサルな環境が完備されていない場所がほとんどなく、日本選手もトレーニングと宿泊に満足できていない状況ではないことを説明しました。競技用カヌーの運搬手段についての大変さなど、私達が自国でも悩んでいる問題は海外から来られた方々には、

もっと大きな問題と実感しました。そこで皆様にご協力をお願いします。大型トラック運送関係の方、トラック運転できる方、カヌーを運搬した事のある方、カヌーの長距離運搬を平日でもして頂ける方がおられましたら、協会連絡先までご連絡をお願いいたします。



機関紙発送費用と、「Canoe Base」の維持費の寄付のお願いです。

4月に霞ヶ浦のラクスマリーナにオープン致しました日本に唯一のユニバーサルカヌー拠点「Canoe Base」(艇庫)。パラカヌー競技艇からポリ艇、ワイルド艇、スラ艇などなど、障害者も健常者も関係なく使えるみんなの活動拠点です。本当にたくさんの方に使って頂きカヌーを楽しんで頂いています。

艇庫は、ラクスマリーナさんのご厚意で場所を作って頂きましたが、電気や水道の光熱費と家賃は支払わねばなりません。

協会の会員様からの会費はこの機関紙の発行郵送費用と、「Canoe Base」の維持費に使わせて頂いておりますが、会費だけでは賄えない状況になって来ております。

そこで、寄付金をお願いさせて頂き、不足しております機関紙の発送費用と、「Canoe Base」の維持費に使わせて頂きたいと思っております。寄付の詳細は、ブルパーカーとTシャツの2種類になります。

◆寄付一口 4500円(会員 4000円)でブルパーカーのお礼。

※色：オートミール

※XS、S、M、Lの4サイズ送料込み。



◆寄付一口 2500円(会員 2000円)でTシャツのお礼。

※色：ダークグレー

※S、M、L、XLの4サイズ送料込み。



振込先 三井住友銀行 霞が関支店
普通 6849143

一般社団法人日本障害者カヌー協会

連絡先 0314hisako@gmail.com

※必ず寄付パーカー / Tシャツ希望とタイトルに記載ください。
すくく受信メールが多いので、お手数ですがお願いします

モンベルより「日本障害者カヌー協会」のTシャツが販売されます。

アウトドア用品メーカーモンベルさんより日本障害者カヌー協会のTシャツが販売される事になりました。表面には、毛玉の原因となるけばを抑えながらも、コットンのような



優しい風合いを持つ短繊維、肌面には優れた吸水拡散性を備え、優しい肌触りを持つ長繊維を使用したTシャツです。異なる特徴を組み合わせることで、機能性だけでなく、快適性もプラスされている商品です。このTシャツの売り上げの一部は「日本障害者カヌー協会」の活動にあてられます。



モンベルサポートカードに「日本障害者カヌー協会」も追加される事が決まりました。

モンベルサポートカードとは一般のモンベル特典に加えて、商品を購入頂くごとに、お買い上げ金額の5%相当のポイントが日本障害者カヌー協会に寄付されるカードになります。

寄付対象になる商品は、モンベル最新カタログ・パンフレット掲載商品に限られます。あと、現在モンベルカードをお持ちの方は切り替えの手数料として300円(税込)が必要となります。詳しくはモンベルサポートカードページをご覧ください。



2019年度パラカヌー部員を募集します。

当協会では来る2020東京パラリンピック、そして2024パリパラリンピックに向けてトレーナースタッフの拡充を計画しています。競技部の新しい人材育成のため、また日本のパラカヌー発展と競技力強化のために尽力して頂けるスタッフを募集します。一緒にパラカヌーを盛り上げていきましょう！併せまして、日本代表合宿、全国大会、2020東京パラリンピック、2021ワールドマスターズと一緒に作って頂けるボランティアスタッフも募集しております。

協会ホームページより「2019年度トレーナー部員募集要項」「トレーナー部員募集登録用紙」ダウンロードできます。



イベントカレンダー

詳細、更新情報は協会HP
イベントカレンダーをご覧ください



開催日	イベント名	開催地
4月24日(水)～30日(火)	バラカヌー日韓合同合宿	韓国
5月5日(日)	誰でも楽しもう霞ヶ浦(子どもの日大会)	茨城県
5月6日(月祝)	霞ヶ浦バラカヌー大会	茨城県
5月18日(土)～22日(水)	ECA ヨーロッパ選手権	ポーランド
5月19日(日)～26日(日)	バラカヌーワールドカップ	ポーランド
6月22日(土)・23日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 広島	広島県
7月4日(木)～6日(土)	パンアメリカ・パラカヌー選手権大会	ブラジル
7月14日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 京都	京都府
7月14日(日)	誰でも楽しもう霞ヶ浦(海の日大会)	茨城県
8月3日(土)・4日(日)	第1回大洲パラカヌー	愛媛県
8月17日(土)～24日(土)	パラカヌー世界選手権大会	ハンガリー
9月3日(火)～6日(金)	日本パラカヌー選手権大会	東京
9月12日(木)～15日(日)	パラスプリントテストイベント	東京
9月21日(土)・22日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 山形	山形県
9月29日(日)	チャレまる(パラマウントチャレンジカヌー in 円山川)	兵庫県

会員更新手続きのお願い

会員の皆様、毎年4月は会員資格の更新月になっております。下記会費振り込み先に更新会費2000円の振り込みをお願いいたします。振り込み確認次第、会員カードを送らせて頂きます。

〈加入者名〉 一般社団法人日本障害者カヌー協会
〈口座番号〉 01020-7-12908

※他金融機関からの振込口座番号 一〇九 (イチゼロキュウ) 店 (109) 当座 0012908

会員募集の詳細は
協会HP会員募集ページ
をご覧ください



(一社)日本障害者カヌー協会 から会員募集のお知らせ

(一社)日本障害者カヌー協会では、一人でも多くの方に、協会に協力いただきたいと願っています。会員になる資格は特にありません。障害の有無は関係ありません。協会主旨に賛同いただければどなたでもOK。入会にあたっては、入会金はございませんので、年会費2000円を振り込み頂き、協会ホームページから入会申込書をダウンロードして頂き、必要事項を記入して協会事務局宛に郵送をお願い致します。

事務局
連絡先

〒107-0052
東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階
(一社)日本障害者カヌー協会
電話 03-6229-5440

編集人

〒630-0201 奈良県生駒市小明町493-17 吉田義朗 方

会費
振込先

*郵便振替です
〈加入者名〉 一般社団法人日本障害者カヌー協会
〈口座番号〉 01020-7-12908
※他金融機関からの振込口座番号
一〇九 (イチゼロキュウ) 店 (109) 当座 0012908

ホームページ: <http://www.japan-paracha.org/>
協会へのご連絡、お問合せは、ホームページの「協会への問合せ」からお願いします。



編集後記

パラリンピックまであと500日くらいになってきました。ここを通り過ぎて考えて、パラリンピックの500日後、1000日後、どこでどんなカヌーが浮かんでいるのかを考えると楽しみが倍増します。あそびましょう!
(さいと一)

季節も春に向かって変わりつつあります。昨年は、悪天候で、多くのパラチャが、中止になりました。自然が相手なので、無理は禁物。今年は、2年分パラチャを楽しみましょう!
(とほほのみやざき)

毎年、この時期は花粉症に悩まされておりますが、今年はヨーグルトを飲んでいるので少しマシです。でも毎日のヨーグルト代は大変なので、ヨーグルトメーカーの購入を考えています。
(マコト)

